

相模原中 R C 会報

第 2056 回例会

11月10日 No.15

会長 佐々木 敏尚



ロータリーは機会の扉を開く

幹事 小崎 直利

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校



ガバナー卓話「ガバナー公式訪問にあたり」 (概要にて掲載)

第 2780 地区ガバナー

コロナの緊急事態宣言による自粛期間を過ぎても不自由な生活が続き、特に北海道では 200 名超の感染者となり、油断できない状況です。これからインフルエンザの流行も懸念され、早く普通の日常に戻ってほしいと願っています。

本来ならば、今年度の PETS や地区研修協議会は、各クラブ会長と親しくお話できる機会でしたが、このコロナで急遽オンラインで行いました。特に PETS では、高齢の会長もおられました。66 人の全会長とオンラインで繋ぐことができ、ロータリーのチャレンジ精神は素晴らしいと感じました。

久保田 英男 (鎌倉 RC)

また従来の PETS ですと、フォーラムでは各クラブ会長を 10 グループに分けて行いますので、ガバナーは各グループには 10~15 分程度しか参加できませんが、オンラインですと会長 1 人 1 人とゆっくり話すこともできました。

先月の地区大会で各クラブ会長と少しお話しして、今日の公式訪問が 2 度目なのですが、ずっと以前から知っていたように思いました。

中 RC は今年度 IM のホストですが、まだ先々が不透明で、第 2 波・第 3 波で取止めとなるかもしれませんが、まずはグループから会員が集まれる機会を作って頂ければと思います。

私は公式訪問にあたって、RI 会長テーマや地区方針など大事なことをお話しなければいけないところですが、ガバナーとしての役職を取り払って、同じメンバーとして考えたいと思っています。

本来なら、私からメッセージを発していくのがこれまでのやり方ですが、どのような形で例会を運営していくのか、奉仕活動をしていくのか、私からの要請ではなくて、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

また先程、例会前に理事役員の皆様とお話した中で、他クラブの活動について質問されましたのが、本日回覧している「社会・国際奉仕委員会アンケート集計」をご参考にして下さい。

一例として、茅ヶ崎湘南 RC で防護服セットを寄贈されたそうですが、大変な労働をされている医療現場の人達は、お菓子やお蕎麦などの差し入れを喜んだそうです。クラブで、こうすれば喜んでくれるだろうという活動ではなく、実際に現場のニーズや声を聞くことが大事だと思います。

ロータリーは地域では知名度が低く、何の活動をしているのか判らないと良く言われますが、知られていないことに開き直って、他の団体ではないこともできるかと思っています。

またメンバーの方々には、地域のリーダーとしての役割もあるので、相模原市でより大きな、本当に必要とされている活動をご検討下さい。

相模原中 RC は 43 年前に熱意と情熱を持って設立され、その伝統を守ることも大事ですが、新しいことを積み重ねていくことも伝統だと思います。例会も対面だけでなく、デジタルなども新しい技術も必要です。このコロナ禍は、考えて準備をしている時間だと思って頂きたい。

また本日、米山寄付金が目標達成とのことで感謝致します。奨学生はアルバイトも勉強も厳しい状況で、1 人でも多くの奨学生を支援したいと思います。そして、インドからの緊急支援にもご協力頂き、有難うございます。毎年、当地区からニューデリーでのポリオ接種のため訪問していて、大変お世話になっているクラブです。

今回は地区補助金の予算枠が使えなくて、各クラブに寄付をお願いしました。当初は 70 万円位と聞いていましたが、約 172 万円集まりました。

少しでも余裕があるようでしたら、地区目標の金額にこだわらずに、財団や米山へ寄付をお願いできればと思います。

会員増強についても地区では一応、増強目標数を設定していますが、数字ではなく、気持ちの問題だと思います。数を上げることで成功したとは言えず、中 RC に合った人を探して入会してもらうことが大事です。

中 RC は歴代の出席率が素晴らしいです。クラブが楽しいかどうかは出席率です。例会に来るのが楽しみだからだと思います。自信を持って頂きたいのは、相模原中 RC は素晴らしいクラブだということです。

今年度 RI テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」で、全ての人にドアが開かれています。このコロナ禍を乗り越え、明るい未来に向かって、より活気あるクラブを目指して頂きたいと思っています。

<ガバナーとの懇談会>

ガバナー補佐

田島 敏久



(以下、要約にて掲載)

ここからはガバナーとの懇談会になりますので、直にお話して下さい。まず、事前に 7 つの質問を頂いていますので、ガバナーにお願い致します。

①クラブの柔軟性と会員種類の多様性について

RI 定款では、正会員と名誉会員の 2 種類だけですが、クラブ細則で正会員の中にいくつか種類を設けることができます。一例として、法人会員や家族会員など。細則でどのような規定を持たせるか明確にして下さい。気をつけて頂きたいのは、正会員である以上、本来の正会員と同じ特典を持っているということです。

②各クラブから地区出向者の適正な人数について

私は特に設けていませんが、当然、ガバナーズクラブからは多く出て、また活気あるクラブからも多くなるようです。もし出向者が多く、クラブ運営などで支障が出る場合は、遠慮なく言って下さい。

③今年度の台北国際大会について

開催の可否は未定ですが、現時点で RI からは多くの登録をするよう依頼が来ていますので、現状はやる気のようにです。

④会員増強について

これはという増強方法はあるようで、無いです。まず、中 RC がどのようなクラブなのか的確に説明できることが大事です。そして、あまり積極的にやるよりは、例会に出席して頂いたり、ゴルフに誘ったり、奉仕活動の折などにアプローチするなど、さりげなくやる方が情報も出てきやすいかと思えます。

⑤ガバナーに就任されて

以前からガバナーは名誉職と思われている方も多く、私はガバナーも会員と一緒に活動する方が良いと思っていました。リタイアしないと、ガバナー職はできないという考えではなく、若くてもどうしたらできるのかと考え、頑張っていこうと思います。ぜひ、これからも若いガバナーを出して頂きたい。

⑥ IMを開催するにあたりコロナ対策として留意すべき点

IMに限らず、気をつけたいことは、不安だと思っている方は無理に誘わないで頂きたいと思えます。会員ご自身だけでなく、家族や従業員の不安も考え、声を聞いてみて下さい。それとマスク着用、換気、消毒、できれば検温も。千寿閣もそれほど広い会場ではないので、オンラインを併用するハイブリット型なども検討してみてください。

⑦女性会員によるリーダーシップ

2022～23 年度には、初の女性 RI 会長として自ジェニファー・ジョーンズさん（カナダ、ウィンザー・ローズランド RC）が就任されますが、

今年度、日本国内のガバナーは 34 名の内、3 名が女性ガバナーですが、次年度の女性ガバナーは 0 名です。佐々木会長の資料では（世界の女性会員の比率は約 23%に対し、日本の女性会員の比率は約 7%。2780 地区の女性会員の比率は約 11%で、世界との間には相当な開きがある）当地区は 11%で、それでも日本国内の地区では 2 番目に高い水準です。あえて女性を増やそうというよりは、女性が増えていく環境を作ることが必要かと思えます。

<その他の質問>

○新会員の退会防止について

周りの方が声をかけている場合が多い。新会員も誘われたら、できるだけ参加して下さい。誘う側も誘われる側も大事です。以前は「新会員の集い」などで他クラブの方と知り合いになれたが、他クラブにメイクされるのも良いかと思えます。例会も各クラブ、それぞれです。

(※その他質問の記載は紙面上、略させていただきます)

<懇親会風景>



<委員会報告>

(概要にて)

○財団・米山委員会 横江委員長

嬉しいお知らせですが、米山は本日 2 名(佐々木会員、金沢会員)の寄付を頂き、目標達成となります(下期クラブ寄付分を合わせて)、有難うございました。

○米山奨学委員会 大井委員長

米山寄付は今月末まで受付していますので、まだの方はお気持ちだけでもお願い致します。尚、私のメールアドレスが不正使用され、迷惑をおかけしました。PCの対応策をとっており、またご連絡致します。



●久保田英男ガバナー（鎌倉RC）

今年の地区大会は、感染防止対策を優先させて頂き、楽しみにされていた皆さんには申し訳なく思っています。一日も早く不自由のない毎日が戻りますように。本日は公式訪問宜しくお願い致します。

●田島敏久ガバナー補佐（相模原西RC）

久保田ガバナーの公式訪問に伴ってきました。歴史ある中RCの活動状況を、理事役員よりお話を聞くのを楽しみにしております。

●佐々木会長、小崎幹事

久保田ガバナー、田島ガバナー補佐、関口グループ幹事の皆様、本日はお忙しい中、相模原中RCによるこそお運び下さり、誠に有難うございます。楽しいひと時を！

●小野 孝会員

久保田ガバナーをお迎えして。

●川合 貞義会員

久保田ガバナー、田島ガバナー補佐、本日はご苦労様です。ご指導よろしくお願ひします。

●甲斐 美利会員、竹田 繁会員

久保田ガバナー、田島ガバナー補佐、本日はお世話になります。

●田所 毅会員

本日は久保田ガバナー、田島ガバナー補佐、よろしくお願ひします。

●取住 悦子会員、金沢 邦光会員

久保田ガバナー、田島ガバナー補佐、関口グループ幹事、ようこそいらっしゃいませ。本日はよろしくお願ひします。

●中里 和男会員

久保田ガバナーの公式訪問を祝して！

●田後 隆二会員

久保田ガバナー、ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひ致します。

●大井 達会員

久保田ガバナー、田島ガバナー補佐、お忙しい中お越し頂き、ありがとうございます。卓話楽しみにしております。

●阿部 毅会員

久保田ガバナー&田島ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します。

今年度のスマイル累計額 251,200円

会長の時間

【コロナ感染症対策】

コロナ感染者数が徐々に増加しており、最近では日本全国で1,000人前後の感染者数となっています。世界全体の感染者累計も9日の時点で5,000万人を超えました。これから冬を迎える欧米で再び広がる傾向にあり、感染拡大が深刻なヨーロッパ各国は外出制限のほか飲食店や劇場の閉鎖など、再び厳しい措置を始めています。

十分な警戒が必要な状況が続いておりますので、当クラブも引き続き感染症対策を重視しながら、ロータリー活動を進めてたいと考えております。

【地区大会】

先日でも少しお話ししましたが、10月18日（日）に地区大会が行なわれ、例年であれば全会員出席ところ、今年は例外的にコロナ対策のため、各クラブ出席者が会長・幹事・エレクトの3名に限定され、小崎幹事・田後エレクト・私の3名で出席してきました。我々は来年3月にIMを開催する立場にありますので、当日の様子を少し詳しく紹介させていただきます。

まず会場は、大船駅から徒歩10分の「鎌倉芸術館」大ホールで行われ、客席数は3階まで含めて合計1,500席ということですので、とても大きなホールでした。当日の登録者は計301名という報告があり、3密を避けるために出席人数の約5倍もの収容人数の大きな会場での開催でした。

この会場については、実際に開催されるまで3回も会場変更がされたという説明があり、会場の選択に相当なご苦労があったことが伺えました。



コロナ対策の観点では、入口で全員に対して検温が行なわれ、消毒液も置かれていました。また、来場者全員がマスクを着用していました。

司会は地区幹事と JCOM アナウンサーのお二人でした。最初に久保田ガバナーより点鐘、菅原バスタガバナーが開会ご挨拶をされました。

日本国歌、韓国国歌、ロータリーソング「奉仕の理想」は全てピアノ演奏であり、斉唱はありません。物故会員への黙祷が行なわれた後、四種の委員会から報告がありました。

登録委員会・大谷委員長から、当日の登録者数が合計 301 名であることの報告がありました。

資格審査委員会・杉岡委員長から、本年度は資格審査をしなかったこと、選挙委員会・脇委員長から選挙委員会が開催されなかったとの報告がありました。

決議委員会・佐野委員長から、1号～13号まで13個の決議案の説明があり、拍手により大会決議の採択が行なわれました。

杉岡直前ガバナーご夫妻へ記念品贈呈と、杉岡直前ガバナーのご挨拶がありました。

次に、直前財務委員長から 2019-2020 年度地区資金の会計報告と、監査委員から監査報告がありました。コロナ関係のために支出が減少したことから、地区の事業会計全体では 500 万円程の繰越金の増加となったという内容で、決算に関する説明の後、拍手をもって決算が承認されました。

次に、地区大会ホストクラブである鎌倉 RC 会長から歓迎の挨拶があり、第 1～第 9 グループの各ガバナー補佐から、地区内参加クラブの紹介の後、ローターアクトの会員 6 名が壇上に登壇して、ローターアクトのご紹介がありました。

次に、久保田ガバナーからご挨拶と地区現況についてのご報告があり、20 分程度のスピーチの間、原稿も見ずに地区の状況を詳細に説明され、かつ、コロナに負けないという熱い思いのこもった圧巻のスピーチでした。

特に、前年度は 2780 地区で 100 名の会員減少、世界では 4 万人の会員減少という状況で、今年度がスタートしましたが、仕事、事業、家族を大切に、会員を一人も減らさない強いリーダーであることを皆さんで証明してほしいという激励と、

米山奨学生はこのコロナ禍で本当に困っている学生が多く、手を差し伸べてほしいということ。

前年度の IM は、4 つのグループは開催できたが、5 つのグループは開催できなかった経験を踏まえ、今年度は大規模な地区大会も十分なコロナ対策をもって開催したので、IM は是非開催してほしいという激励の言葉がありました。

その後はビデオメッセージが続き、クナーク RI 会長、神奈川県黒岩知事、鎌倉市の松尾市長、姉妹地区・韓国 3662 地区のガバナーでした。

新世代も全てビデオメッセージで、インターアクト、ローターアクト、財団学友、ローテックス、米山奨学生、平和フェローの各団体からメッセージがあり、当クラブの提唱インターアクトクラブ光明学園もビデオメッセージで参加しており、当クラブ奉仕事業「空飛ぶシューズ」に生徒も協力しているというメッセージが流れていました。

次に大口寄付者、ロータリー賞、会員増強賞等の表彰がされ、当クラブも米山記念奨学会寄付の累計 4000 万円達成クラブとして表彰されました。

(※この感謝状を本日、回覧しております)

その後、司会から祝電紹介、久保田ガバナーからガバナーエレクトの田島透氏、ガバナーノミニの佐藤祐一郎氏の紹介と挨拶があり、次期ホストクラブの藤沢湘南 RC 会長エレクトより、どんな地区大会にしたいのか、絵コンテで紹介するというユーモアあふれる挨拶がありました。

最後に実行委員長から閉会挨拶があり、久保田ガバナーの点鐘により閉会となりました。

ガバナーの説明では、点鐘に使われた鐘は日本のロータリークラブが今年で 100 周年を迎えることから「100」という数字が彫られた鐘であり、日本にある 34 地区のガバナーに同じ鐘が配られているということでした。

午後 2 時に開始した地区大会は、なんと午後 4 時には終了するという、極めてコンパクトな地区大会で、これまで 2 日間かけて開催していた地区大会のエッセンスが 2 時間に凝縮されており、密度の濃い充実した地区大会でした。

最後の点鐘において、ガバナーがこの鐘は希望の鐘であり、新たな世界の幕開けの鐘であると仰っていたのが、とても印象的でした。

<紙面上、一部は略させて頂きました>

＜ガバナーより、ロータリー財団表彰者の方々へ贈呈＞

第4回マルチプルフェロー

小野 孝会員

第2回マルチプル・フェロー

早川 正彦会員

第1回マルチプル・フェロー

豊岡 淳会員

田後 隆二会員

櫻内 康裕会員

ポールハリス・フェロー

大井 達会員

池之上 和哉会員

諸隈 武会員



例会記録

点 鐘 12時30分

場 所 「敦煌」

司 会 豊岡 淳SAA

斉 唱 「国歌君が代」「四つのテスト」

ソングリーダー 伊倉 正光会員

ゲスト 久保田英男ガバナー（鎌倉 RC）

田島敏久ガバナー補佐（西RC）

関口 修グループ幹事（II）

邵 佳慧さん（米山奨学生）

例会プログラム

11月17日ゲスト卓話「財団月間にあたり」

地区財団委員長 田後隆二氏

定例理事役員会

出席報告

会 員	出席(出席対象 22名)	事前メイク者
29名	24名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(10/13)
4名	85.71%	88.46%

報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①インド緊急国際支援要請に対するご協力のお礼

インドからコロナ感染者搬送用車両の支援要請に対し、ご寄付を賜り感謝申し上げます。総額1,722,733円（16,407ドル）となり、グローバル補助金プロジェクト外して申請されており、ロータリー財団からの承認がおり次第、全額インドへ送金する予定となっております。

②コロナ禍におけるアンケート結果のご報告

各クラブより回答を頂き、行動が制限される中、奉仕活動をされている状況が判りました。アン

●例会場 中国名菜「敦煌」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-13-1

TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3

相模原商工会館 3 F

ケート結果を参考にされ、コロナ禍での奉仕活動にお役立て頂ければ幸いです。

(アンケート8ページは回覧にて)

③インター・ローターアクト委員会

今回も Zoom を利用したハイブリット型になりますが、ご出席をお願い致します。

日時：11月14日(土) 13:00～ 場所：第一相澤ビル及び Zoom にて